

令和4年第1回芸西村議会定例会 一般質問通告一覧表

一般質問（第2日）：令和4年3月9日（水）

No. 1

質問者	質問の件名		答弁を求める者
岡村 俊彰	村道への防草シートの施工を	現在、小学校北側の村道の土羽部分に防草シートが施工されている。雑草などが生えなくて、おおむね好評のようだ。 この防草シートを更に延長施工し、他の村道にも施工してはどうか。村長の見解を問う。	村 長
宮崎 義明	津波災害警戒区域（イエローゾーン）について	県は沿岸19市町村で津波浸水が想定される全エリアを、法に基づく津波災害警戒区域に指定すると決めた。 今さら、イエローゾーンとして指定するメリット・デメリットについて聞く。 ・津波災害警戒区域に対する説明会がコロナ禍のため中止となったが、浸水地域の住民にとっては単に指定され防災意識の向上の説明を聞かされたという結果だけだと思う。 平成25年改訂版芸西村防災マップにより浸水地域はすでに周知されており、また避難計画義務策定施設もないがどのようなメリットがあるのか。 ・村の高齢化率を大幅に上回る地区があるが、危機をあおり更に黄色のレッテルを貼られるとなれば将来的に限界集落を作るようになるのではないかと。 ・南海トラフが動くのは2038年頃と説く地震学者がいる。 住民の避難意識はあっても身体的能力の低下が著しい。東日本大震災から10年、またこれから十数年の歳月が過ぎればいろいろな状況変化もあるがそれに沿った見直し対策をどのように考えているか。 ・叶木地区の避難場所は八幡宮となっているが、今後ますます高齢化となると急峻な避難路の通行には無理がある。 宮城県では盛土工法による「千年希望の丘」が構築されている。津波避難対策緊急事業は期限切れと思うが浸水ゾーン内に盛土工法による避難場所を設置できないか。	村 長
仙頭 一貴	村営住宅の管理について	村内の住居で事故があったと聞く。今回の件で村としての対応ができていたのか。また、今後の対応にあたり改善や見直しをしたか。	村 長
	懲戒委員会について	12月議会の質疑の答弁で懲戒委員会という言葉が出てきた。懲戒委員会とは何か。内容を聞く。	村 長
安芸友 幸	コロナ禍で村民のいのちとくらしをどう守るか	①長引くコロナ禍は未だ収束する気配がない。特に子どもの感染拡大と高齢者の重症化が危惧される。 ・当村住民のワクチン接種率はどうか（1回目、2回目）。3回目の状況はどうか。 ・5～11歳接種をどう考えるか。 ②経済的困窮世帯への村独自の支援について問う。 ・ワーキングプア層、課税世帯でも生活が苦しい、18歳以上の子どもの学びと生活支援など所得や年齢制限のため給付金が受けられないという困窮者へ支援はできないか。	村 長
	芸西中学校の教育実践「チーム芸西」の取組みと当村教育の展望について問う	芸西中学校が「教育実践表彰」を受賞した。この実践を広げ更に教育の充実を図ることが重要だと考える。 ①この教育実践のねらいと成果について、特に子どもたちはどう変わったか。 ②「チーム芸西」の取組みを今後も継続し、保幼小中がチームとして村の特性を生かした教育を進めることが大切だと思うがどうか。 ③当村教育の展望について聞く（連携教育・教育施設など）。	教育長

西笛 千代子	村道の拡幅工事と安全対策を	<p>○春田屋敷線沿いの用水路に蓋をしている部分と蓋をしていない箇所があるが、全ての区間で蓋をすることは可能か。</p> <p>・朝の通勤時間帯にこの道路は国道の渋滞もあり、村内の職場の通勤、また役場職員の駐車場もこの沿線上にあり交通量がとても多い。また道幅が狭い箇所があり相互通行ができないために地元住民も不便を感じている。子どもたちの登下校時とも重なるので安全に通学するためにも用水路に蓋を設置し、道の拡幅してはどうか。</p> <p>○旧県道の交差点での事故が多いが安全対策をどう考えるか。</p> <p>旧県道と村道などが交わる場所で道路標識、道路に止まれの表示があるにも関わらず一時停止義務違反により出会い頭の事故が大変多いように感じる。道路標示が消えかかっているので、早急に道路標示の塗装やもっとインパクトのある道路標示などの対策がとれないか。</p>	村 長
--------	---------------	--	-----